



やすひさの瓦版 (第113号) [新年号]

Home-page <http://www.y-shiozaki.or.jp>

E-mail: shiozaki@y-shiozaki.or.jp

2019年1月1日

自由民主党愛媛県第一選挙区支部長
衆議院議員 塩崎 恭久
〒790-0003 松山市三番町4-7-19
TEL 089(941)4843 FAX 089(941)4894



「党・政治制度改革実行本部」本部長として8カ月に渡り、若手中心に74名の国会議員とともに活発な議論を行い、自民党総裁室にて、安倍晋三総裁に報告書を手渡す。(7/20、自民党党本部)

謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。
旧年中は力強いご支援を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

昨年は自然災害が相次ぎ、7月の西日本豪雨は南予や松山などにも大きな爪痕を残しました。今も復興の最中にある皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

私は現在、自民党行政改革推進本部長、党税制調査会インナーメンバー、データヘルス推進特命委員長、そして自民党、超党派双方の児童養護・虐待に関する議連の会長などとして、国会議員としての使命を果たすべく、全力投球中です。

本年も皆様と心をひとつにして、一人ひとりの幸せ実現と、国及び地元愛媛、松山の発展を目指して努力して参る覚悟です。

確かな未来を構築する

行政改革を ゼロベースで行う

トランプ政権の内向き姿勢、中国の国家資本主義、AI等デジタル化の飛躍的進展など、世界は、多くの前提を覆すほど、大きく変わりつつあります。
そのような時、私

は昨秋より、自民党行政改革推進本部長を拝命しました。世界が大転換する一方、国内では行政の不適切行為や、税制優遇を受ける公益法人による不祥事の多発等により、国民の行政に対する信頼の回復が喫緊の課題となっています。「小さく、効率的な政府」、「余計な事はしない、必要な事は行う政府」を実現するため、「確かな政府」と「独創的かつ強い民間」という、新たな官民パートナーシップ(PPP)の実現など、行政と民間との役割分担の抜本的な再検討を行います。

新たな「社会システム」 としての保健政策へ

少子高齢化や独り暮らしの増加で、日本社会のあり方が変化する中、国民一人ひとりの目線に立った政策作りへのパラダイムシフトが

急務です。厚生労働大臣時から推進する「我が事・丸ごと」の地域共生社会作りは、着実に進めねばなりません。また、国民・患者目線の保健・医療・介護を実現するため、私が委員長を務める自民党・データヘルス推進特命委員会に、「病院等全国情報インフラWG」や「国民・患者視点のデータヘルスWG」、「がんゲノム・AI等WG」、「科学的介護等WG」という4つのワーキンググループを立ち上げました。日常的に摂取する栄養の改善を含め、如何にして「より健康に、より持続可能な保健医療制度」を構築できるか、引き続き全力で取り組めます。

国民目線の 政策づくりに邁進

今年は、いよいよ「平成」から次の元号に移り行く変化の年です。歴史と未来を見定めつつ、引き続き現場の生の声に耳を傾け、国民目線を大事にした、地に足の着いた政策作りに邁進致します。

真に子どもを 大事にする国へ

昨年3月の「結愛ちゃん事件」は私達の

本年も皆様のご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。

「やすひさ」が行く、見る、聞く



地域文化祭を支える皆さんと。
(12/2、余土中分館)



校区運動会で手作りコーヒー
などをふるまって大活躍のサロ
ンの皆さんと。(10/14、松山)



県自動車整備振興会中予支部にて
「新たな時代の自動車整備事業」に
ついて講演の後、久しぶりに皆さんと
親しく飲み語りました。(11/23、松山)



清水校区にて国政報告会を実
施。ゆっくり皆さんと語りあう。
(11/25、清水)

愛媛、松山での地域 包括ケアのあり方を議論



第26回「フォーラム21」を開催。
テーマは、「介護を科学する：『和光
方式』による自立支援とデータヘル
ス改革」。和光市の東内前保健福
祉部長を講師に迎え、多職種連携
によるケア会議で市民一人ひとりの
ニーズに応じたケアプランを策
定する和光市の先駆的事例に大い
に学ぶ。(9/22、松山)



私が座長を務める超
党派「児童虐待から
子どもを守る議員の
会」と、会長を務める
「児童の養護と未来
を考える議員連盟」
の合同勉強会を開
催。結愛ちゃん事件の虐待死検証報告書をまとめた厚労省検
証委員会の山縣文治委員長と、山梨県立大学の西澤哲教授から
お話しをお聞きする。(11/8、東京)

国民のためのがんゲノム医療を

BSフジ「プライムニュース」に生出演。長年日本のがんゲノム医
療を牽引してこられた
中村祐輔がん研有明・
プレジジョンセンター
所長とともに、最先端
のがんゲノム医療実
現方策等について語
り合う。(11/2、東京・
フジテレビ)



日米こそ牽引すべき国際保健



第3回「日米グローバルヘルス協力対話」
に出席。私は午後の議題のトップバッターと
して「効果的な保健システムの維持」に関
し、わが国が進めているデータヘルス改革、
保険者改革等や、地域包括ケアシステム
構築、タスク・シフティング、タスク・シェア
リング等の改革の
向かうべき方向性
について語る。
(9/28、米国科学
アカデミー、ワシ
ントンDC)



Topics

自民党「行政改革推進本部」とは？

塩崎やすひさが、昨年10月に本部長を拝命した自民党の「行政
改革推進本部」は、平成7年12月に、当時の橋本龍太郎総裁が
総裁直属「党則83条機関」として設置され、これまで歴代17人
の本部長の下、「中央省庁再編」や、「国家公務員制度改革基
本法」など行政改革の重要局面で党側の取りまとめを担ってき
ました。日本が超高齢・人口減少社会でも活力に満ち、イノベ
ーション溢れる国家であり続けるために、塩崎やすひさは、官民の
役割分担の再検討などゼロベースでの検討を進めます。

～あなたの声を政策に～

参加者大募集！

ご近所やサークル、職場、ご友人など、お仲間
の輪の中に塩崎やすひさが参ります。是非皆
さんの暮らしの「生の声」を
お聞かせ下さい。

連絡先：塩崎恭久事務所
☎089-941-4843(早瀬・兵頭)

